

2004 年 2月の主な出来事

長井市・南陽市・川西町・飯豊町 2 市 2 町合併協議会



2月3日飯豊町アースで、長井、南陽、川西、飯豊町による合併協議会が発足しました。南陽市の荒井市長が会長、ほかの首長が副会長となり南陽市を事務所として、各自治体の基本調査や協議会の規約や初期的な整備を進める予定で、第一回の会合が2月26日南陽市で開催、各市町の企画課長が出席しておこなわれました。

第38回青梅marathon大会



第38回青梅marathon大会に今年も長井市、白鷹町から総勢20名が参加し日本ケミコンで大会終了後の懇親を深めてきました。今年の招待選手は、アテネOlympic女子marathonに内定している野口みずき選手。彼女は、一昨年高橋尚子が出した30キロ国内最高タイムを塗り替えた。

身長150センチ、体重40キロ、小柄な野口選手は飛ぶように青梅地を駆け抜けた。

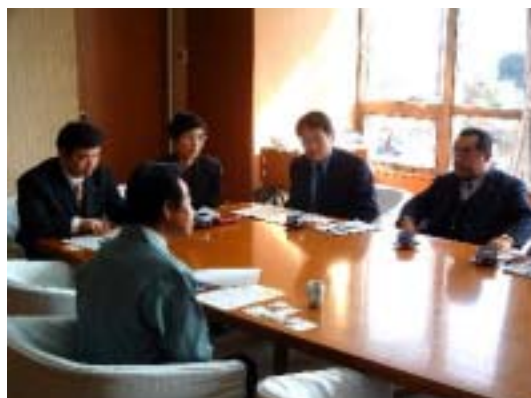


長井市花作町出身の小杉選手、いまやケミコン女子陸上部のトップアスリートとして活躍、欠かせない存在になった。



会派研修を行いました

埼玉県志木市を訪問、志木市長であり、改革派自治体穂坂邦夫市長が自ら志木市の行革取り組みについて説明をしていただいた。志木市の職員は619人、20年後は半分の301人にするという。方策として、役所の仕事は行政パートナーに年次別に移すという。今後の行方を注視しなければならない



2月13日午後4時、日本ケミコン東京品川区大崎の本社を訪問する。われわれを出迎えてくれたのは、常盤会長、須賀常務、千葉管理部長であり、長井市長ほか議長、商工観光課長にわれわれフォーラム21のメンバーである。ケミコンとの友好関係を築くのは行政としても議会としても当然のことだ。

桜町地区で市政座談会



長井市平山桜町公民館で市政座談会が開かれた。会場には31名が参加、それに手伝いのために役員の奥様方が活躍、長井市の16年度予算の概要を蒲生光男がプロジェクターを使って説明、市長の挨拶や質疑応答に2時間、懇親会に先立ち、地区で始めて100歳を迎えた佐藤キチヨさんの祝いも同時に行われた。

